

ミクロ・マクロ経済学演習 復習問題(第9回)

2012.11.28 担当：河田

学籍番号 _____

氏名 _____

※ 12月3日(月)17時までに、河田研究室(514)まで提出すること。

※ 途中の式や思考過程はそのままにしておくこと。

1. ある財に対する市場の需要曲線と供給曲線がそれぞれ、

$$D = 1000 - P$$

$$S = 2P - 200 \quad (D: \text{需要量}, S: \text{供給量}, P: \text{価格})$$

で示されているとします。このとき、

- (1) 均衡点における需要の価格弾力性を求めなさい。

- (2) この市場の市場均衡において実現する消費者余剰、生産者余剰、総余剰はそれぞれいくらか。

- (3) この財に1単位あたり150の従量税が課されたとすると、生じる厚生損失はいくらになるか。

2. ある財に対する市場の需要曲線と供給曲線がそれぞれ、

$$D = -\frac{4}{5}P + 212$$

$$S = 2P - 40 \quad (D : \text{需要量}, S : \text{供給量}, P : \text{価格})$$

で示されているとします。このとき、

(1) 均衡点における需要の価格弾力性を求めなさい。

(2) この市場の市場均衡において実現する消費者余剰、生産者余剰、総余剰はそれぞれいくらか。

(3) この財に 10% の従価税が課されたとすると、生じる厚生損失はいくらになるか。

3. 右下の図は、縦軸にある財の価格を、横軸にその数量をとり、供給関数を SS' 、需要関数を DD' 、その交点を E 、財の供給量を X で表したものである。今、政府が市場に介入して、この財を価格 P_1 で生産者から購入し、価格 P_2 で消費者に販売して、その差額を税額で賄った場合に生じる厚生損失をしめすのはどれか。ただし、政府が購入した財は、すべて売り切れるように、 P_2 は設定されているものとする。

- 1 : REQ
- 2 : DP_2Q
- 3 : P_1SR
- 4 : P_2OXQ
- 5 : P_1P_2QR

(特別区 2003)

